

事故報告書（概要書）

第 2 報

2025 年 7 月 16 日

工事番号	23-1-0164		報告者	米谷 大輔	
部門、部署	建築本部	第一工事部	現場責任者名	池田 和樹	
現場名称	(仮称) 大谷流レイクミストラルサイドホテル (50室) 新築工事				
被害者情報	氏 名 [REDACTED] 氏		年 齢 [REDACTED]	生年月日 [REDACTED]	
現住所	[REDACTED]		職種	左官工	連絡先 [REDACTED]
勤務先 (所属会社)	会社名	株式会社音成	所在地	千葉県船橋市薬円台5丁目9番24号	
	TEL	047-465-9723	雇入年月日	満 年	[REDACTED]
契約関係	(一次) 株式会社音成 → (二次) 一人親方 → (三次)				
災害発生 年月日時	2025 年 7 月 16 日 9 時 11 分 頃				
傷害名	脳内出血、骨折		傷害・部位	あばら骨 5本骨折	
病院名	四街道徳洲会病院		治療・休業・日数	休業日数	治療日数
災害発生 の事実 確認者	氏名	米谷 大輔	所属 会社	(株)音成	
災害発生 の状況 (具体的に記入する)	・時系列で、事故発生の状況、警察・病院・監督署・発注者等への一次処置の内容 (いつ・どこで・なにが・どうして・どうなった)				
	日にち	時間軸	報告内容		
	16 日	9 : 12	4階バルコニー (401号室) に倒れていた被災者を現場巡視中の米谷が発見する。		
		9 : 12	被災者に声をかけたが、意識が朦朧としていた、2分程で意識が回復した。		
		9 : 12	池田所長に電話にて報告。		
		9 : 20	池田所長が現場到着。		
		9 : 20	救急に電話。		
		9 : 30	救急車が現場到着。歩行可能だった為、歩いて下まで降りる。		
		9 : 45	警察到着。		
		10 : 5	受入れ可能の病院が見つかった為、四街道徳洲会病院に向かう。		
		:			
		:	脳に出血が見られており、薬で押さえるため1週間程度入院し、経過観察とする		
		:	7月17日改めてMRI検査を行います。		
		:			
	処 置 (連 絡)	※特筆すべき事項を記載してください。			
発見時は意識が朦朧としていて、声をかけても返事がなかったが、2分程で起き上がり、返事する様になり、					
救急車を待っている間に回復はしてきたが、被災状況が自分でもわかっていなかった。					
※社内周知及び必要に応じて実施した警察・監督署・発注者等への二次処置の内容					
施主・顧客					
設計、監理者					
所轄労基署	東金労働基準監督署				
社 内	有田本部長、鎌田部長、中島部長、田中次長				
労災成立番号					

※ 連絡・報告については発注者、設計事務所、監督官庁(警察署、監督署、その他)等へは必要に応じて連絡すること。
(重大事故における被災者家族対応・マスコミ対応等については、原則、本社管理部門と相談のうえ実施すること。)

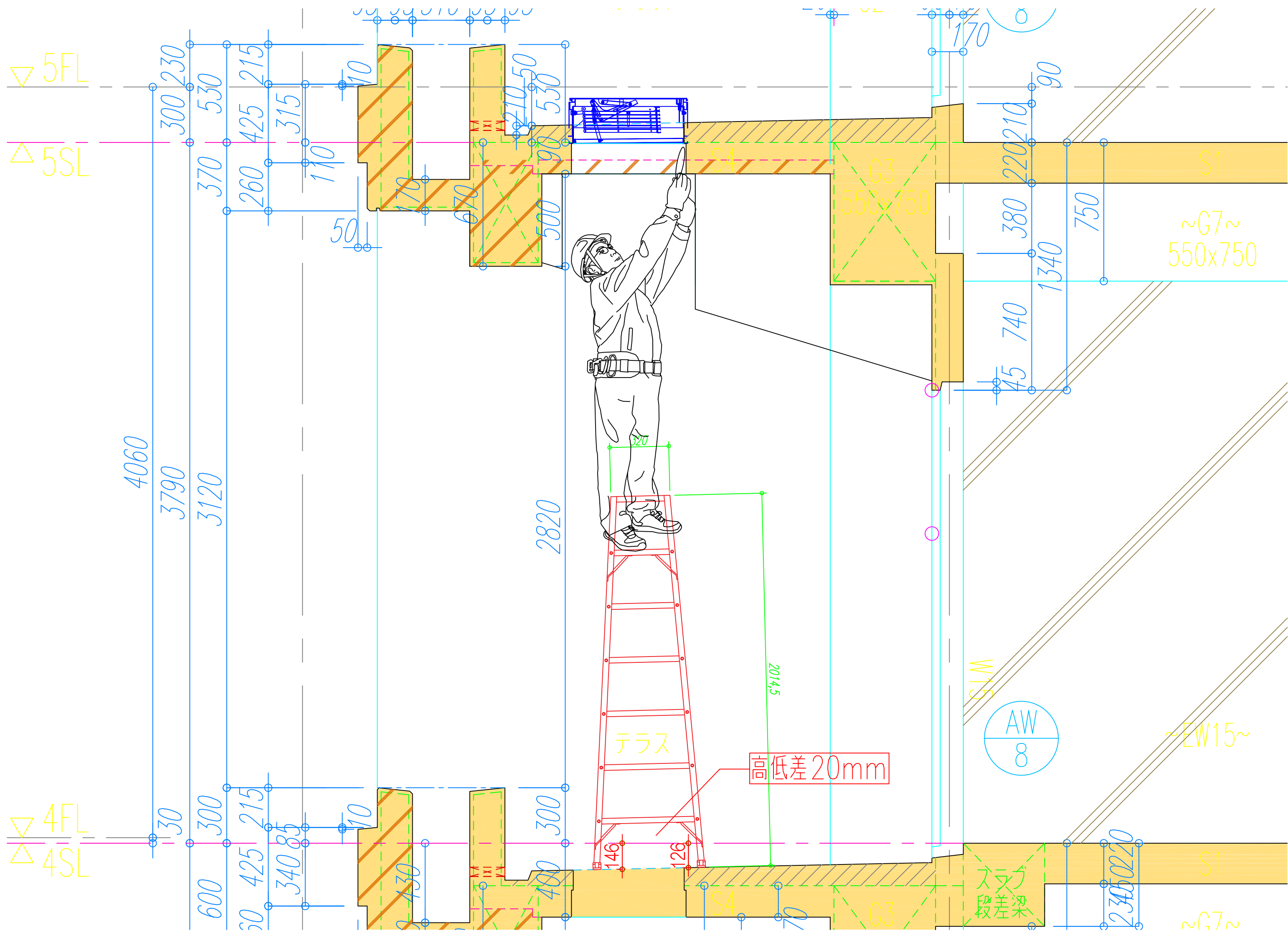
状況写真・図面等(1)



状況写真・図面等(2)



原因	脚立作業にて上を向いての作業だったので、バランスを崩して転倒してしまったと思われます。
	(事故の際の記憶が無く本人からの証言は取れていません)
再発防止対策	当面の対応として、脚立は使用せず、立馬での作業とする。





被災時使用脚立



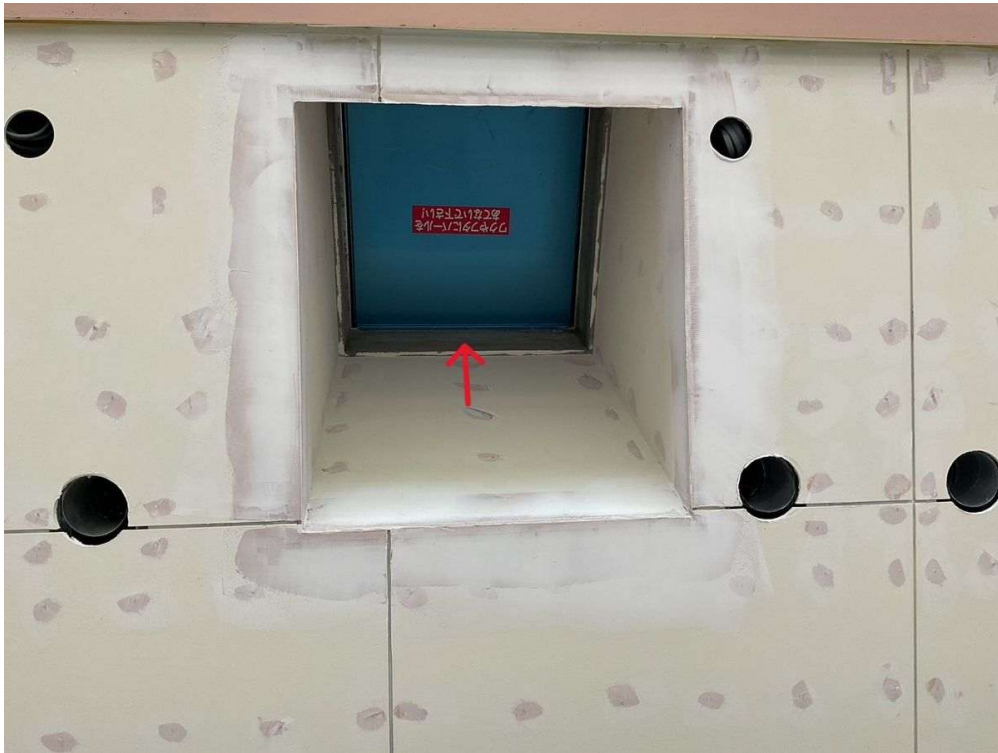
作業状況確認



作業状況確認



脚立使用状況確認
高低差20mm



避難ハッチ下左官補修



避難ハッチ下左官補修